

施策10

楽しく体を動かしスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

<主な取組>

- 10-① 2026年に本県で開催される第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）・第25回全国障害者スポーツ大会を通して、本県選手の競技力向上と県民のスポーツに対する意識醸成に取り組みます。
- 10-② 楽しく体を動かし、運動を習慣化させる機会の創出を推進します。
- 10-③ スポーツ科学に基づいたスポーツ指導を推進するとともに、指導者などの人財育成により、幅広い年代における競技力の向上に取り組みます。
- 10-④ スポーツ関連イベントの誘致など、スポーツを楽しむ心を育む機会の充実に取り組みます。

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
10-①	競技力向上事業	108,418	● 本県の競技力向上を図るため、（公財）青森県スポーツ協会を介して、競技団体等が実施する強化活動を支援する。 ▶ 国スポ正式競技団体、県中体連、県高体連の各専門部等が行う強化活動の支援（強化合宿等に要する経費の補助金交付）。 ・総合選手強化事業41団体 ・中学生強化事業33団体 ・高校生強化事業47団体 東北総スポでの順位向上や予選突破による国スポ出場、さらに国スポでの入賞数の増加など、競技力の向上は着実に図られている。
10-②	地域スポーツクラブ活動体制推進事業	54,315	● 運動部活動の地域展開について、地域の実情を踏まえ、関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、事業成果の普及に努めるとともに地域展開に向けた取組を推進する。 ▶ 三本木高校附属中学校をモデル校に、休日の部活動の地域展開に向けて実践研究を実施。令和7年度は対象部活動を増やして取組を進めたが、1学校単位による取組であることから持続可能な地域クラブの運営には課題が残る地域クラブもある。 ▶ 市町村担当者協議会や地区別情報交換会を開催。国の動向や他県の先進事例、県内の取組状況の情報提供とともに、市町村の現状及び今後の方向性（広域連携）等について協議、情報共有する機会を確保した。 ▶ 地域クラブの指導者の確保について、人材バンクのシステムを構築し、令和6年度から運用を開始。大学や総合型地域スポーツクラブへの訪問依頼や県の広報媒体を活用して周知することで登録者数の増加につなげた。 ▶ 県教育委員会内に総括コーディネーターを配置することにより、各市町村への巡回訪問による実態把握や課題解決に向けた助言等による個別支援の充実に努めた。引き続き、地域展開に係る情報発信や情報共有の場を設定するとともに、総括コーディネーターの県内6地区への配置を進めることで課題や対策等について各市町村を支援していく。

施策10

楽しく体を動かしスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

<主な事業等>

主な取組	事業等名	R7決算額 (千円)	取組内容・評価（●…事業概要 ▶…具体的内容・実績・評価等）
10-③	競技力向上対策特別事業	457,816	● あおもり国スポでの「天皇杯・皇后杯の獲得」、国スポ終了後も「持続可能な競技スポーツの振興」と「国スポ天皇杯20位以内の維持」を目指し、競技力向上の取組を行う。 ▶ 各競技の強化拠点として活躍が期待される学校や幅広い年代のクラブ、本県代表として活躍が期待される選手を指定し、各団体・各選手の強化活動の補助を実施。また、高校生以下の選手のうち、極めて優秀な成績を有する将来有望な選手を特別強化指定選手として指定。 ・強化拠点112団体 ・強化指定選手369人（特別強化指定選手15人） ▶ 競技力への影響力が大きく、得点獲得へ結びつきやすいとされる競技艇や馬匹等の特殊競技用具等を整備。 ▶ 有力選手の県内定着に向け、選手を雇用した県内企業に対する奨励金の支給、県内企業へ就職した有力選手の強化活動の補助、県内企業への就職に結びつけるための対策本部による選手の雇用を実施。 ・企業雇用14人 ・本部雇用47人 各種取組により、R7滋賀国スポでは入賞数が増加したものの、男女総合成績は前年と同じ23位であった。また、トップ選手の県内定着を目的とした「選手・指導者の雇用環境充実支援事業」の取組により、県内企業へ就職した選手3名、本部雇用の選手20名が入賞し、前年から83点増となる176点の競技点を獲得した。あおもり国スポにおける天皇杯・皇后杯の獲得に向けて競技点を大幅に上昇させるためには、高配点である団体競技での入賞が不可欠であるため、強化戦略プランを再検討するとともに、強化すべき種目・種別の選択と集中を図り、強化事業の質・量の両面から一層の充実を図る必要がある。
10-④	「するスポ」気軽に運動エンジョイ事業	5,847	● 運動に消極的なこどもたちの体力向上や体を動かす習慣の形成に向けて、小学生がプロスポーツチームの選手と触れ合うイベントや、総合型地域スポーツクラブと連携した体験型イベント・スポーツ教室を開催する。 ▶ 総合型地域スポーツクラブや市町村担当課、市町村スポーツ協会、市町村教育委員会等で構成する検討協議会を設置し、こどもたちが体を動かす環境をつくるための連携した活動内容について検討。今後も地域のスポーツ環境整備に向けた連携を継続するため、クラブと行政へのアプローチが必要である。 ▶ 検討協議会の検討内容等を踏まえ、未就学児から小学生を対象とした、ニュースポーツなどのスポーツ体験型イベント（176人参加）やスポーツ教室（1,518人参加）を開催。スポーツに関心がないこどもたちの参加もあり、スポーツの楽しさを伝えることができたが、より多くの参加者を得るためには、広報手法について検討する必要がある。また、事業終了後にクラブへ入会したこどもはわずかであったことから、クラブ会員増加へつながるための課題について、引き続き検討が必要となる。 ▶ 運動をするきっかけづくりのために、県内のプロスポーツチーム等がホームゲームに小学生を招待し、試合観戦（480人参加）や選手との交流体験（232人参加）を実施。アンケートでは参加満足度も高く、スポーツに挑戦する場を提供することができた。

施策10

楽しく体を動かしスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

<指標>

No.	指標	基準値 (現状値)	目標値 (R10)	R6	R7	R8	R9	R10
① ③	国民体育大会（国民スポーツ大会） の男女総合成績（天皇杯順位） 及び女子総合成績（皇后杯順位）	(R5) 天皇杯 40位 皇后杯 36位	天皇杯・皇后杯 ともに20位以内	天皇杯 23位 皇后杯 15位	天皇杯 23位 皇后杯 14位			
② ④	県内の総合型地域スポーツクラブの 会員数	(R5) 5,847人	9,500人	6,112人	6,096人			
① ② ③ ④	県内の日本スポーツ協会公認スポーツ 指導者登録者数	(R5) 2,829人	3,115人	3,101人	4,300人			

<今後の方向性>

- 国スポに向けた本県選手の競技力向上（アスリートの発掘・育成、有力選手・指導者等の県内定着の推進等）
- 競技力向上のためのスポーツ環境の充実（スポーツ医・科学スタッフの派遣、指導者・強化担当者等の資質向上の支援等）
- 楽しく体を動かし、運動を習慣化させる機会の創出（総合型地域スポーツクラブの活動充実に向けた支援等）